

学校の概要及び校区

学校は昭和47年（1972年）前池（通称カルピス池）を埋め立て校舎が完成し、池田で8番目の小学校として開校しました。校区は石橋1・3・4丁目、住吉1・2丁目、空港1・2丁目です。校区の東側には待兼山が、南には大阪空港が、西には亀の森があります。北側には箕面川が流れ、冬には渡り鳥の姿も見られます。

〔校区〕

住吉1丁目1番・6番～13番（市道東畑住吉線で区分される東側区域住吉2丁目4番～13番（市道東畑住吉線及び府道大阪中央環状線で区分される東側及び南側区域）

空港1丁目・空港2丁目

石橋1丁目・石橋3丁目・石橋4丁目



校歌

作詞：伊藤海彦

作曲：平井哲三郎

一、はてしなき

明日へと実る わが夢は
雲ちりばめて なお青き
かがやく空の 告げるもの
誇らかに ああ 心かか
げて
いざ行かん 友よ ひとつの道を

二、はてしなき

明日へとひびく わが歌は
色とりどりに 咲きみち
あふれる花の 告げるもの
高らかに ああ 声をそ
ろえて
いざ行かん 友よ ひとつの道を

三、はてしなき

明日へとつづく わが旅は
闇つらぬきて ひとすじに
またたく星の 告げるもの
のびやかに ああ 足を踏
みしめ
いざ行かん 友よ ひとつの道を

【 石橋南小学校の校章 ・ 校旗 】



石橋南小学校区内にある、宮の前遺跡にちなんで、弥生式土器の形の中にインターチェンジを象徴する曲線を配して、近代社会をあらわしています。中央の水色は、前池跡に学校が建ったことを示し、曲線は黄、3つの三角形は赤と指定されています。（デザインは田淵隆彦氏による） 石橋南小学校発行「二十年の歩み」より抜粋

「石橋」のいわれ石

正門を入った右手に「石橋」の由来を伝える「石」があります。

この石は、石橋駅南の最初の踏切を通る旧西国街道と旧能勢街道が交差する西側の小川にかかっていた石の橋で、明治40年（1907年）頃までは、幅2間（約3.6m）長さ1間一枚板でした。石の中央にある浅い孔は、明治維新の時に三条実美ら7名の公卿たちが文久3年（1863年）に失脚（失敗して地位を失うこと）して京（今の京都）の都を追われ長州（今の山口県）にのがれる途中、この石の上で実美が馬をとめて、京都の空に向かって静かに祈ったときに、できた馬の蹄の跡であると伝えられています。

